

2025年鈴鹿サンデーロードレース第1戦 参戦報告書

Team HRSの2名が、し烈な首位争いを展開!
HRS Moto クラスアドバンスコース生3名全員が表彰台に登壇

4月19日(土) 公式予選 10:45~11:05 ◎天候・路面:Cloudy/Dry

#56 富樫虎太郎 2'21.778/ポールポジション

#19 戸高綸太郎 2'22.692/2番手

#51 長谷川蒼馬 2'23.354/4番手

鈴鹿サンデーロードレースシリーズ第1戦が4月19日(土)・20日(日)に鈴鹿サーキットフルコースを舞台に開催され、J-GP3クラスにHRS Motoクラスアドバンスコース生が参戦した。今期はコース2年目となるインタークラスの戸高綸太郎と、今期よりアドバンスコースに合流したナショナルクラスの富樫虎太郎と長谷川蒼馬の3名体制での参戦となる。

曇り空ながらもうっすらと汗ばむほどの陽気の中、20分間の予選が始まった。富樫、戸高、長谷川は連なってコースイン。序盤積極的な走りを見せたのは戸高で、4周目に2分22秒692を記録する。だが前日の特別スポーツ走行で2分21秒台を記録している富樫が戸高の背後にビタリとつける。富樫は戸高の前に出るとさらにペースを上げていき、徐々に戸高を引き離すと、6周目に全体のトップとなる2分21秒778を記録。

その後このタイムを更新するライダーは現れず、富樫がポールポジションを獲得した。戸高は4周目のタイムがベストとなり、富樫に次ぐ2番手。長谷川は2列目4番グリッドからさらに上位を狙う。



















































2025年鈴鹿サンデーロードレース第1戦 参戦報告書

4月20日(日) 決勝レース(フルコース10周) ◎天候・路面: Cloudy/Dry

#56 富樫虎太郎 総合1位/ナショナル1位/NSFチャレンジ1位

#19 戸高綸太郎 総合2位/インター1位/NSFチャレンジ2位

#51 長谷川蒼馬 総合4位/ナショナル2位/NSFチャレンジ3位

ポールポジションの富樫がスタートを上手く決め、真っ先に1コーナーに飛び込んでいく。その背後には2番グリッドスタートの戸高がピタリとつけ、レース序盤からTeam HRSの2名が後続を引き離しにかかる。2列目スタートの長谷川はスタートで集団に飲み込まれてしまうが、1周目は予選順位と同じく4番手の位置につける。富樫、戸高の2名のペースはさらにアップすると、3周目にはともに2分22秒台をマークする。その後方、長谷川を含むライダーらは24秒台で走行しており、トップ2台と3番手以降のライダーの差は徐々に大きくなっていった。

4周目、2番手を走る戸高は2分21秒台を記録するが、先行する富樫をなかなかかわすことはできず、レースは中盤に差し掛かる。その後方、長谷川は3番手争いのグループからなかなか抜け出せず、5周目には7番手にまでポジションをドロップしてしまった。

レース終盤になっても富樫、戸高はハイペースを維持しながら超接近戦を展開。7周目には戸高がトップに立つものの、すぐさま富樫が抜き返す。この白熱した優勝争いはラストラップにまで持ち込まれ、バックストレートで先行する富樫に戸高が並びかける。そして最後の勝負ポイント、ASTEMOシケインに両者は並んで飛び込んでいく。しかしインを締めた富樫は、そのまま戸高を抑えきり、0.120秒という僅差で優勝を勝ち取った。戸高は総合2位(インタークラス優勝)。

その後方、一時は順位を落としてしまった長谷川が終盤粘りを見せて予選順位と同じく総合4位でチェッカーを受け、クラス2位で表彰台に立った。



インタークラス表彰
(1位) 戸高 綸太郎 (2位) 中嶋 昂士 (3位) 金子 寛



ナショナルクラス表彰
(1位) 富樫 虎太郎 (2位) 長谷川 蒼馬 (3位) 山本 瑠生哉

















































2025年鈴鹿サンデーロードレース第1戦 参戦報告書



[50音順]

**ナショナルJ-GP3クラス: 予選1位 ◎決勝総合1位 (ナショナル1位/NSF
チャレンジ1位)**

富樫 虎太郎 (とがし こたろう) 14歳

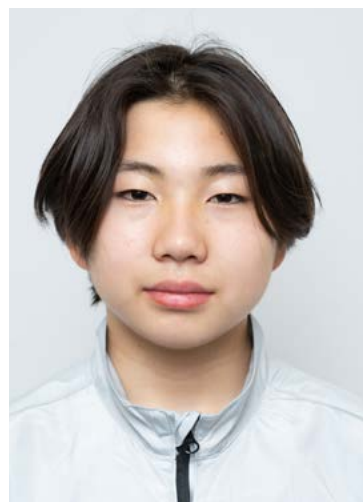
『今回のレースの前にモビリティリゾートもてぎでの全日本のテストに参加していて、すごく速いライダーたちと一緒に走ることで学ぶことがたくさんありました。もてぎで理解できたことが今回のサンデーで生かすことができて、スポーツ走行ではこれまでよりも1秒ほどタイムを縮められました。決勝ではそこまでのタイムは出せませんでしたが、スポーツ走行や予選とほぼ同じタイムでラップが出来て、もてぎで得られた感覚を忘れずにしっかりと走ることができました。レースは戸高選手と競ってしまっただけですが、自分としては序盤からぶっちぎるつもりでした。ただセットアップも合っていたわけではなく、逃げるのは難しかったです。とはいえマシンの条件は皆同じですし、自分が対応しきれなかったということだと思います。ですがそんな状況でもできることはすべてやりました。前に出られても落ち着いて対処できたし、最終ラップのASTEMOシケインでの勝負でも気持ちは折れませんでした。ただ、次回のレースまでには、ひとレースをまるまる走っても余裕が残るくらいの体力をつけ、疲労も溜まる夏になる前に体力をつけておきたいです。あとは日々のイメージトレーニングを充実させ、常にバイクの事を意識した生活をしていきたいと思います』



**インターJ-GP3クラス: 予選2位 ◎決勝総合2位 (インター1位/NSFチャ
レンジ2位)**

戸高 綸太郎 (とだかりんたろう) 14歳

『予選では小さなミスが重なり、思ったほどペースが上げられず、タイムも富樫選手に離されてしまいました。自分としては、もう少しいいタイムを出せたと思いますので、この予選の結果は悔しかったです。決勝のスタートは悪くはありませんでしたが、良くもなかったです。コースの前半区間は先行する富樫選手に近付けましたが、200Rシケインの立ち上がりからは少し引き離される感じがありました。ですがデグナーの1個目などでは富樫選手の前に出られることもありました。最終ラップの130R立ち上がりはかなり加速していたので、ASTEMOシケインでは速度を保つためにアウトに振ったんですが、シケインの2つ目で姿勢を崩した富樫選手を避けるためアウトに出てしまい、結局富樫選手の前には出られませんでした。ファステストラップは記録しましたが、悔しさの残るレースでした。レース中の走りは悪くは決まらなかったとは思いますが、富樫選手の前にはなかなか出られなかったことが悔しいです。勝負をかけるもっと前の段階から、しっかりと作戦を組み立てていくべきでした』



2025年鈴鹿サンデーロードレース第1戦 参戦報告書

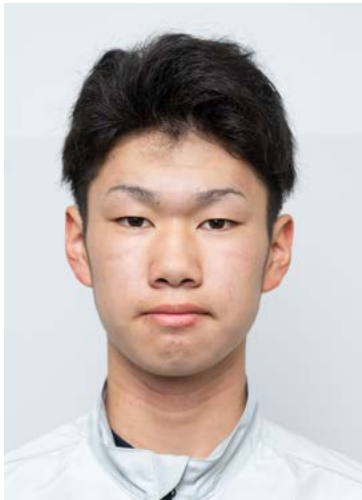


[50音順]

ナショナルJ-GP3クラス:予選4位 ◎決勝総合4位(ナショナル2位/NSF
チャレンジ3位)

長谷川 蒼馬(はせがわ そうま) 14歳

『予選前日の特別スポーツ走行は全くダメな結果でした。その際クラッチが焼けてしまい、あまり走れませんでした。これは自分のミスでもあります。前回のスクールでの走行で感じた自分のダメなポイントは少しは改善ができたとは思いますが、タイムにはつなげられませんでした。予選では、富樫選手、戸高選手のタイムと比べまだまだ遅いですが、前日のスポーツ走行に比べると、自分の走りが少し理解できたようにも感じました。決勝ではスタートで出遅れて、ポジションを落としてしまいました。このことで自分の考えていた展開で走ることができなくなりました。またマシンのフロントが跳ねていたのを、思い切って走ることもできず、なるべく転倒は避けようという気持ちで走っていました。その結果最後まで集団からは抜け出せませんでした。予選より順位を下げたくはないという気持ちを持って走りきりました。次のレースでは、まずはスタートを決めて、1周目にできるだけ前に出るということを強く意識して走りたいです。そのためには特に予選が重要だと思っています』



岡田忠之Principal

『富樫は自力で順調にタイムを上げていくことができています。戸高、長谷川がもっとレースを想定した練習を出来るようになれば、この3名でいいバトルができるのではないかと思います。今日のレースに関しては、全員のマシンにチャタリング(ホイールの跳ね)の問題が出てしまいました。これから解析を進めますが、そういった状態のマシン走らせてしまったことは申し訳がなかったと思っています。長谷川のマシンは特に跳ねがひどく、悔しい思いをさせてしまいました。とはいえそんな状態のマシンでも、富樫、戸高はとてもいいバトルを見せてくれました。我々としては、次の練習走行でチャタリング問題を確認していきます。』

富樫、戸高は今期全日本ロードレースにも参戦しています。サンデーロードレースシリーズだけでは得られない経験ができると思うので、そういった良い環境で、よりスキルを上げてもらいたいと思います。今回のレースで戸高はファステストラップを記録していますが、これは富樫に引っ張られた結果で、単独であのタイムを出すのはまだまだ難しいでしょう。戸高には、練習の時点から今日のタイムで走れるようになってほしいですね。走行に向けた気持ちの入れ方や、走行中のモチベーションを保つ能力に関しては、現在は富樫がいちばんです。戸高や長谷川には今後の練習を通じて、富樫と同じレベルにまで上がってきてほしいですね』

